

# Cloud Platform Suite R4 負荷評価モデル

移行前のラックサーバ構成システム(2009年度構築)と比較して、消費電力、CO<sub>2</sub>排出量ともに**約75%削減**の削減効果

移行前：ラックサーバ



※1：Express5800/R120a-1 の場合。  
1日24時間、1年365日稼動と想定し、算出。

移行後：CPS



※2：Cloud Platform Suite エンタープライズ  
パッケージ R4 の場合。  
1日24時間、1年365日稼動と想定し、算出。



CO<sub>2</sub>排出量比較(★)

年間：**62.2t-CO<sub>2</sub>**

年間：**15.8t-CO<sub>2</sub>**

(★) 計算条件：  
1日24時間、1年365日稼動と想定。  
電力のCO<sub>2</sub>排出係数は、0.373 [t-CO<sub>2</sub>/MWh] にて算出。

年間 **46.4t-CO<sub>2</sub> (約75%)** の削減

# Cloud Platform Suite R4 負荷評価結果

導入により、CO2排出量を75%削減。  
主に機器使用による削減に効果大。

